

# WORKSHOP

山口市では、昨年6月に「山口市新本庁舎整備基本計画」を策定し、この基本計画に基づき、現在、新本庁舎の姿をより詳細かつ具体的に描くための設計作業を進めています。こうした中、市民の皆様のご意見やアイデアを設計に反映するため、市民ワークショップを開催しています。過日、第1回のワークショップを開催しましたので、テーマを基に話し合い、取りまとめたご意見をご報告します。

## 第1回

日 時：令和2年2月16日(日) 午前9時～正午

場 所：山口総合支所 第10・11会議室

参加者数：31名(公募)

テーマ：「山口にふさわしい庁舎を建てよう」

### ワークショップの流れ

これまでの経緯と  
基本計画の説明

ワークショップの目的

先進事例の紹介

グループワーク①  
「現庁舎の課題点と良い点」

グループワーク②  
「山口にふさわしい庁舎の将来像」

グループ毎に発表

まとめ

これまでの経緯や基本計画で取りまとめた内容を説明し、ワークショップの目的や先進事例の紹介を行った後、A～Dの4つのグループに分かれて議論するグループワークを行いました。テーマについての意見を出し合い、付箋と模造紙、広域地図などを用いて、グループ毎の意見・アイデアをまとめました。

まず、グループワーク①では、現在の庁舎の良い点、不便な点、課題と感じる点を話し合い、グループ内で共有しました。

次にグループワーク②では、グループワーク①で話し合った内容を踏まえ、どのような庁舎が望ましいか、山口らしく、この地にふさわしい庁舎とはどんなものなのか、自由に意見交換を行い、「山口にふさわしい庁舎の将来像」をまとめました。



最後に、グループ毎に発表を行いました。「山口にふさわしい庁舎の将来像」として、よりよい庁舎にするために重視するポイントや周辺地域にとってどんな場所になってほしいのかなど、グループでまとめた意見・アイデアを発表しました。



# Aグループ

## グループワーク①のまとめ(抜粋) ＜現庁舎の課題点と良い点＞



- ＜交通＞**
- ・車の進入動線がわかりづらい
  - ・逆走あり
  - ・車線がわかりにくい
  - ・車のアプローチ

- ＜駐車場問題＞**
- ・駐車スペースが狭い
  - ・駐車場の利用制限

- ＜安心・安全＞**
- ・安心、安全の強化
  - ・避難

- ＜執務環境＞**
- ・全体的に暗い
  - ・働きやすさ
  - ・執務環境が悪い
  - ・市民が見える職場に

- ＜施設内環境等＞**
- ・バリアフリーになっていない
  - ・トイレが汚い
  - ・食堂が汚い、狭い
  - ・庁舎としてわかりにくい
  - ・建物の自由度
  - ・フリースペース

- ＜敷地利用＞**
- ・民間隣地と一体に
  - ・敷地面積が狭い
  - ・地盤



## グループワーク②のまとめ(抜粋) ＜山口にふさわしい庁舎の将来像＞



- ＜大内文化を考慮した施設づくり＞**
- ・大内文化のディスプレイ
  - ・大内時代(室町時代)を意識したプラン
  - ・山口市の歴史が感じられる庁舎
  - ・大内文化を盛り込んだ施設
  - ・明治維新
  - ・正面玄関のたたずまい

- ＜商店街からパークロード、文化ゾーンにマッチした施設づくり＞**
- ・建物外観は亀山、教会との調和のとれた形状と色に
  - ・官庁街(県庁、国庁舎、文化施設)とのマッチした景観
  - ・亀山、サビエルの塔を意識した庁舎づくり(背景景観)
  - ・低層
  - ・パークロードとの一体化した庁舎づくり
  - ・道場門前、米屋町商店街との連携した庁舎づくり

- ＜施設の将来展望＞**
- ・10年先、20年先の山口市の状況を見据えたものに
  - ・人口減少を見込んだ事務スペースづくり

- ＜都市計画等まちづくりの視点＞**
- ・街づくり、都市計画的視点を
  - ・必要以上の箱物はいらぬ
  - ・街区としての計画
  - ・災害拠点

- ＜駐車場の利便性＞**
- ・コミュニティバスの停留スペースを広げる
  - ・1台当たりの駐車スペースを広くする
  - ・車両の動線を入り易く、出易く、安全に

- ＜庁舎と周辺施設との関係＞**
- ・職員の仕事のしやすさ
  - ・交流スペースは不要
  - ・保育園を併設する
  - ・美術館や博物館と一体化して利用できる
  - ・市民会館と陸橋をつなぐ

- ＜コミュニティ確保＞**
- ・オープン型のレストラン
  - ・学習スペース等、学生も利用できるスペース
  - ・市民が集いやすいスペース
  - ・キッズスペース等、子育て世代にもやさしい
  - ・コミュニティ広場としての機能強化
  - ・若い世代、子育て世代間の交流の場

- ＜バリアフリー＞**
- ・トイレを洋式ウォッシュレットにする
  - ・スペースを広くする
  - ・性別のない手洗いの設置

# Bグループ

## グループワーク①のまとめ(抜粋) ＜現庁舎の課題点と良い点＞



### ＜ユニバーサルデザイン＞

- ・バリアフリーになっていない
- ・点字ブロックは全て黄色にする
- ・入ってからどこに行けば良いかわからない
- ・庁舎内の動線が複雑である
- ・福祉に充分配慮された庁舎になっていない

### ＜良い点＞

- ・美術館や商店街は近くて良い
- ・パークロードがきれい
- ・市街地の中心にある

- ・防災に考慮されていない
- ・コンビニ
- ・郵便局
- ・屋上は公園に！
- ・市民会館と結ぶ通路
- ・太陽光はやめる
- ・亀山の景観が悪い
- ・木材活用(温かさ)

### ＜せまい＞

- ・アクセスする道が狭い
- ・出入口がわからない
- ・窓口が小さい
- ・市民が集まる場所が少ない
- ・休むところがない
- ・庁内が狭い
- ・駐車場が狭い
- ・暗い



## グループワーク②のまとめ(抜粋) ＜山口にふさわしい庁舎の将来像＞



### 「市民にやさしい」

#### ＜防災＞

- ・消防、防災機能の集約
- ・第3次避難所の機能
- ・防災拠点としてヘリポートの設置
- ・災害に強い市役所にしてほしい
- ・救援物資

#### ＜やさしさ①＞

- ・各セッション間のスペースを十分に取る
- ・歩きでも車でも入りやすくする
- ・使い勝手が良い
- ・相談室の設置
- ・入口を大きくする
- ・ワンフロアの活用

#### ＜やさしさ②＞

- ・車いすでも自由に動ける
- ・ユニバーサルデザインとバリアフリー
- ・トイレ、非常口がすぐわかる
- ・多目的トイレ
- ・廊下、トイレの広さ
- ・目の不自由な人への対策

#### ＜やまぐちらしさ＞

- ・市民会館と連絡通路
- ・バスのターミナル化
- ・亀山公園と一体化した広場
- ・屋上公園
- ・太陽光はやめる
- ・木材利用

#### ＜集い＞

- ・観光 PR
- ・山口の物産展のスペース
- ・交流スペース(打合せ、話し合い、喫茶スペース等)
- ・アンテナショップ
- ・広大な市域なので交通の便を重視
- ・ギャラリー
- ・夜も使える市役所
- ・楽しみのある、見栄えのある外観
- ・コンビニ
- ・セルフドリンクスペース
- ・市民が自由に利用できる会議室
- ・食堂
- ・郵便局
- ・文化発信スペース

# Cグループ

## グループワーク①のまとめ(抜粋) ＜現庁舎の課題点と良い点＞



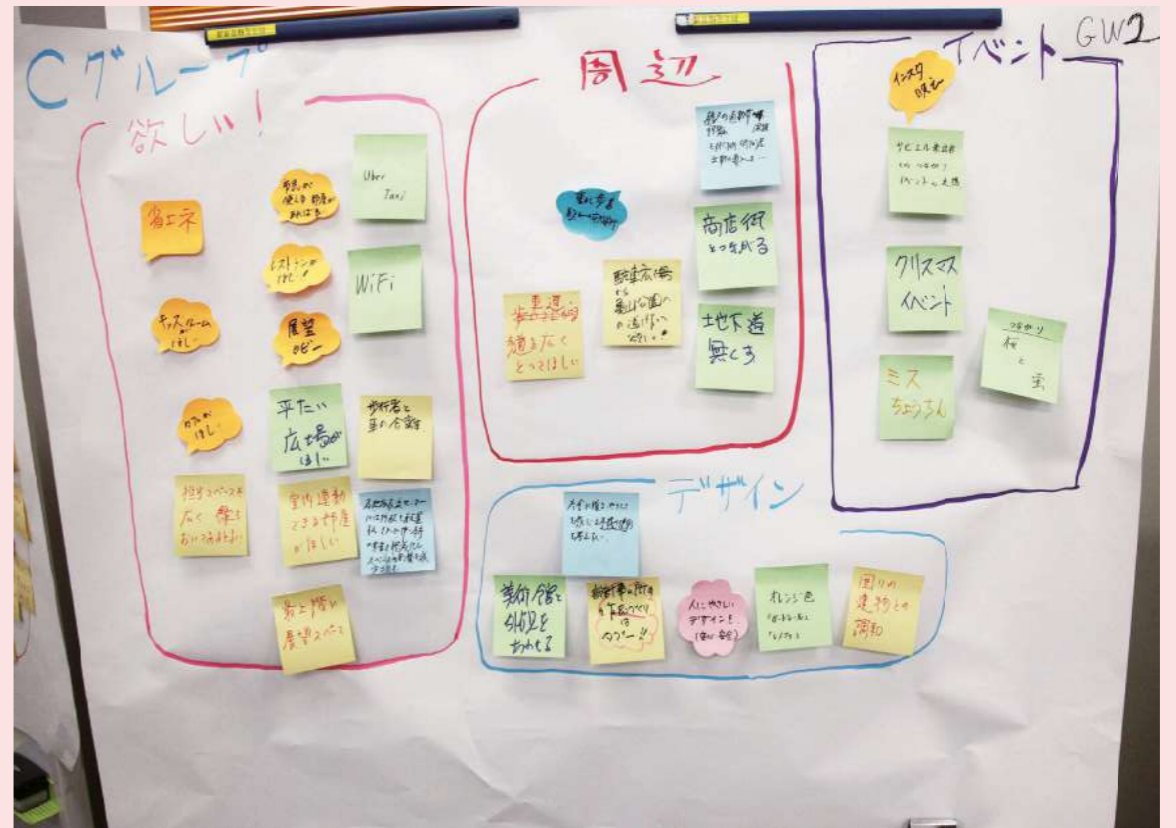
- ＜駐車場＞**
  - ・駐車が狭い
  - ・進入路がわかりづらい
  - ・まとまった駐車場に
  - ・動線が複雑
  - ・車動線がわかりやすい
- ＜公共交通＞**
  - ・コミュニティバスを市役所に
  - ・市役所を利用しやすい環境整備
  - ・バス停が遠い
  - ・道路が狭い
  - ・市民会館利用時に配慮を

- ＜自転車＞**
  - ・駐輪場が少ない
  - ・自転車の利用に配慮を
  - ・駐輪場への出入りが難しい
- ＜庁舎内＞**
  - ・待合(受付)の場所が狭い
  - ・暗い
  - ・どこから入るのがわかりにくい
  - ・機能のすみわけがわかりにくい
  - ・地下道が商店街と分けている

- ＜今後＞**
  - ・太陽光発電をできるだけ利用
  - ・学生が気軽に立ち寄れる
  - ・市民会館との関係
  - ・フリーマーケット、お祭り
  - ・市民が集う場所
  - ・喫茶スペース
  - ・明るく広々とした雰囲気
  - ・商店街とのつながり
  - ・コミュニティバス
  - ・開かれた感じ
  - ・地域交流センターとの住み分け
  - ・本庁舎全体を案内できる総合受付



## グループワーク②のまとめ(抜粋) ＜山口にふさわしい庁舎の将来像＞



- ＜欲しい!＞**
  - ・省エネ
  - ・キッズルーム
  - ・カフェ
  - ・担当スペースを広く、緑も置いてあるとよい
  - ・市民が使える部屋
  - ・レストラン
  - ・展望ロビー
  - ・平たい広場
  - ・室内運動ができる部屋
  - ・Wi-Fi
  - ・Uber Taxi
  - ・歩行者と車の分離
  - ・本庁の業務を軽減化し、面積を減少させる

- ＜周辺＞**
  - ・動く歩道(駅から市役所)
  - ・車道、歩道を広く
  - ・駐車広場から亀山公園への道
  - ・周辺道路の混雑緩和対策を
  - ・商店街とつながる
  - ・地下道を無くす

- ＜イベント＞**
  - ・インスタ映え
  - ・サビエル来訪者とのつながり
  - ・イベントの連携
  - ・つながり(桜と蛭)
  - ・クリスマスイベント

- ＜デザイン＞**
  - ・暖かさ、やさしさを感じる木材の使用を考えたい
  - ・美術館と外観を合わせる
  - ・人にやさしいデザインを(安心・安全)
  - ・オレンジ色(ガードレール、レノファ)

# Dグループ

## グループワーク①のまとめ(抜粋) ＜現庁舎の課題点と良い点＞



- <改善点(屋内)>**
- ・待合が殺風景、狭い
  - ・食堂が暗い
  - ・郵便局がなくなり不便
  - ・エレベーターが遠い、狭い
  - ・外国人にやさしくない
  - ・英文表記がない
  - ・高齢化社会への配慮を
  - ・プライバシー配慮のスペースがない
  - ・案内表示がわかりにくい
  - ・バリアフリーでない
  - ・建て増しで行き先がわかりにくい
  - ・機能がまとまっていない
  - ・迷う
  - ・動線が悪く、あちこち行かされる
  - ・古いので明るく
  - ・コンパクトに
  - ・圧迫感がある
  - ・様々な情報があちこちにある
  - ・市民利用の多い課が狭い
  - ・待合がアナログな案内方法
  - ・次に行く課がわかりにくい
  - ・子どもの課と授乳室が遠い
  - ・会議スペースがあまりない
  - ・レセプションスペースが狭い

- <改善点(屋外)>**
- ・西側道路から駐車場に入りにくい
  - ・車と歩行者の動線が交差している
  - ・駐車場が狭く、わかりにくい
  - ・市役所の周りの道路の整備を
  - ・アクセスがしにくい、わかりにくい
  - ・地下道
  - ・駅からわりと遠い

- <今のいいところ>**
- ・尋ねる総合窓口がある
  - ・市街地にあり立ち寄りやすい
  - ・美術館、図書館が近くにある
  - ・窓口は親切な対応
  - ・受付が入ってすぐにある

- <希望>**
- ・待合スペースに日本庭園を
  - ・亀山の自然を活かす
  - ・市民相談室の充実
  - ・ミニカフェ、ミニレストラン
  - ・1階ロビーにキッズコーナーとミニ図書館を設置
  - ・365日使える駐車場
  - ・防災活動のセンター
  - ・山口アンテナショップ

## グループワーク②のまとめ(抜粋) ＜山口にふさわしい庁舎の将来像＞



「おいでませ! 歴史と文化の交流拠点”新”山口市役所」 — 市民のため、観光客のため、外国人のため —

- <こうだったらいいな>**
- ・外からのお客さんを受け入れる場
  - ・レンタサイクルステーション
  - ・休日も入れる
  - ・パンフレット等がある情報案内センター
  - ・観光客が利用できる
  - ・コミュニティの場所
  - ・多言語への対応

- <バス>**
- ・バスを利用しやすく
  - ・周遊バス生活用コミュニティバス
  - ・まわりの施設(美術館、図書館)にまわるバス

- ・文教地区の立地を活かす
- ・市の花：菜の花、市の木：イチョウ並木
- ・螢
- ・パークロードとスカイロードを軸に山口駅(SL)へ
- ・お祭り(ちょうちん、スペイン、ほたる祭、祇園祭、よさこい)
- ・残すべき建物
- ・山口大学だった歴史



## グループワーク①のまとめ

### <現庁舎の課題点>

- 利用しにくい駐車場
- アクセスしにくい
- わかりにくい動線、案内表示
- 室内が暗く、スペースが狭い
- 窓口や待合スペースが狭い
- バリアフリーが不十分

### <現庁舎の良い点>

- 市街地の中心に立地
- パークロード
- 受付や総合窓口の対応

各グループに共通して、駐車場に対する課題や庁舎へのアクセスの悪さ、動線のわかりにくさが多く挙げられました。また、老朽化した建物であることから、室内の暗さや窓口や待合スペースの狭さ、バリアフリーが不十分であることなどの課題も挙がりました。良い点としては、商店街や美術館等、他の施設に近く、市街地の中心にあることから立ち寄りやすいという意見がありました。また、受付や総合窓口の対応など、ソフトに対することが良い点として挙げられました。

現庁舎の課題を改善することはもちろん、現庁舎の良い点を活かしつつ、市民のニーズに沿った新たな庁舎が求められていることを各グループで共有することができました。



## グループワーク②のまとめ

### <山口にふさわしい庁舎の将来像>

- 商店街とのつながり
- パークロードの街並み
- 文教地区の特色を活かす
- 近隣の自然を活かす
- アクセスのしやすさ
- プライバシーへの配慮
- バリアフリー化
- ユニバーサルデザイン
- 利便機能の拡充
- コミュニティの場
- 幅広い世代が利用できる
- 人口減少・高齢社会を考慮

各グループの共通したアイデアとして、山口駅から商店街、パークロードへのつながりと、美術館や図書館が集積した文教地区に立地する特徴を活かした施設づくりをすることがありました。隣接する市民会館との連携や、亀山公園や一の坂川の自然を活かすというアイデアもありました。新たな庁舎を整備にすることによって、周辺地域全体の街づくりにつなげるという視点が重要なポイントとなっていました。

また、アクセスのしやすさやプライバシーへの配慮、バリアフリー化、多言語への対応等、ユニバーサルデザインの施設づくりで「人にやさしい」という視点も共通した意見でした。特に、アクセスについては車の利用者だけでなく、バス等の公共交通機関や徒歩、自転車の利用者にも配慮し、多様な手段で市役所に行ける環境を整えるという意見がありました。

キッズルームやカフェ、学習や打合せができるスペース、コンビニなど、利便機能への要望も多く挙げられましたが、市民が気軽に立ち寄れることで市役所がコミュニティの場となる将来像を描かれていた点も共通した点です。さらに、山口アンテナショップや文化発信スペース、情報案内センターなど、外部からの来訪者に向けた機能を入れるというアイデアもありました。

学生や子育て世代、高齢者の幅広い世代が利用でき、集えることも重要なポイントとして挙げられていますが、人口減少・高齢社会を見据え、必要以上のものはつukらないという意見もありました。

参加者の皆様には、第1回新本庁舎整備市民ワークショップにご参加いただきまして誠にありがとうございました。様々な年代の方にご参加いただき、活発な意見交換が行われ、大変有意義なワークショップとなりました。

この度いただきましたご意見やアイデアは、引き続き実施する第2、3回のワークショップと合わせ、今後の具体的な設計に反映できますように検討を進めてまいります。

**問い合わせ：山口市総務部本庁舎整備推進室**  
〒753-8650 山口市亀山町2番1号  
TEL：083-934-4151 FAX：083-934-2944  
電子メール：[honchosha@city.yamaguchi.lg.jp](mailto:honchosha@city.yamaguchi.lg.jp)

